

龍郷町
町制施行40周年



Public Relations TATSUGO TOWN

広報

たつごう

2015(平成27年)

January

1月

1

Vol. 438



発行 / 龍郷町役場 編集 / 総務企画課 〒 894-0192 鹿児島県大島郡龍郷町浦 110 番地

電話 0997-62-3111 F A X 0997-62-2535 【URL】 <http://www.town.tatsugo.lg.jp> 【E-Mail】 info@town.tatsugo.lg.jp

謹賀新年

平成27年初春

年頭のごあいさつ

龍郷町長 徳田 康光



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様方には夢あふれる輝かしい平成27年の新春をさわやかに迎えたいこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、町政全般にわたる温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、一昨年11月に町長に就任して以来、1年が過ぎました。龍郷町が将来に向かって発展し続けるために、若者が夢と希望を持てるまちづくり、高齢者が生きがいと安らぎを

持つて暮らせるまちづくりをモットーに町政を推進しているところでありますが、本年も、第5次龍郷町総合振興計画の「歴史と文化をつむぎ 未来へつなぐまちづくり」を基本理念に、未来への夢と笑顔があふれる龍郷町を創って参りたいと考えております。

さて、昨年を振り返りますと、近年引き続き大規模災害は止まることを知りません。8月に発生しました広島市北部の土砂災害で74名の尊い命が奪われたほか、9月には長野・岐阜両県境の御嶽山が噴火し、57名が死亡、6名が行方不明になるという痛ましい自然災害が発生したことは、記憶に新しいところであります。

このような暗いニュースの一方で、私たちに夢や希望を与える出来事もありました。青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎氏、天野氏、中村氏の3教授がノーベル物理学賞を受賞したほか、奄美関係では、大島高校野球部が春の選抜高校野球大会に21世紀枠で甲子園出場を果たし、はつらつとしたプレーで観客の感動を呼び、地元はもちろん全国の奄美出身者が歓喜の渦に包ま

ました。

本町におきましては、「エフエム たつごう」が玉里地区に局舎を新築し、地域コミュニティ放送局として放送を開始しました。このFM放送局は、地域に密着した町民参加型の放送のほか、災害時の情報伝達機能としての役割も期待されています。

また、相撲界では、本町浦出身の若乃島関(本名・再田史也さん)が十両昇進を果たし、本町初の関取誕生となったほか、わんぱく相撲全国大会小学5年生の部で、龍瀬小の栄龍征君が全国優勝を果たすなど、子供たちにとって大きな励みになる出来事でした。

さて、今年は、龍郷町町制施行40周年の記念すべき節目の年を迎えます。2月には、町民フェアと併せて記念行事を予定しているところであります。また、世界自然遺産登録に向けた国立公園指定などの取り組みも引き続き推進して参ります。

今、あらゆる面で注目されている奄美・龍郷の地の利と40周年という節目の年を絶好の機会と捉え、本町が有する歴史や文化、自然などを活

かした観光や、奄振交付金事業を有効に活用した地域間交流の推進、定住人口の増加を促進して参りたいと考えております。

私は、町政の基本・原点はそこに住む人々が地元を愛し、町民自らが町づくりに参画し、「住んでみたい」、「住んで良かった」と実感できる町づくりであると考えています。これらの実現のためには、町民の皆様のお知恵と力の結集が欠かせないものがあると考えておりますので、お互いの持てる力の限りを尽くして笑顔あふれる龍郷町を創っていきましよう。

結びに、今年一年が町民の皆様にとりまして素晴らしい年になりました。皆様お祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



大島紬 (龍郷柄)

新年のごあいさつ

龍郷町議会議長

碩 龍弘



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい平成27年の新春をお迎えのことと心から喜び申し上げます。

また、平素より議会運営に対し温かいご指導、ご理解を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国政においては、昨年末「アベノミクス」の評価を問うため、衆議院が解散し、審判の結果は政権与党が圧勝でありました。今後の経済、地方に景気回復の波を引き寄せるために、国家的プロジェクト「地方創生」を隅々まで届けて欲しいものであります。

また、世界各地の状況を見ますと、依然としてテロ・イスラム国の勢力拡大や地域紛争が後を断たず、今もなお多くの人々が傷つき、苦しんでおり、世界平和への道のりは、いまだ遠いことを痛感せざるを得ません。我が国においても、東日本大震災による原発事故の影響や米軍基地の辺野古問題、中国との尖閣諸島の領土問題など、国内外を取り巻く情勢は一段とその不安定さをましており、一日も早い解決と、世界平和が訪れることを願ってやみません。

災害状況を見てみますと、本町では台風接近で農作物等の被害はありましたが、人的被害は無かったと思います。しかし、国内では広島市の豪雨土砂災害で74名の死者、御嶽山噴火で死者及び行方不明者63名と大きな被害がありました。一刻も早い復旧・復興と亡くなった方々の冥福を心から願っているところです。

また、明るいニュースでノーベル物理学賞に青色LEDを開発した赤崎勇・天野浩・中村修三の3氏が受賞する快挙を成し遂げ日本の科学水準の高さを世界に示したことは、日本国民として誇らしい事ではなかつ

たかと思えます。

また、奄美群島で一番大きかったのは、奄振法の延長で新たな制度により離島間と鹿児島への飛行機、または船舶による運賃が割引かれ最大54%安くなり、長年の群島民の夢へと一歩近づいた事だと思えます。もちろんまだ改善の余地は必要だと思えます。また、夏から就航しましたバナラエアの成田⇨奄美間の飛行機も大きな経済効果があったと思えます。観光や突然の帰郷などに利用者から大変好評だとお聞きしました。島の経済圏が広がった年でありました。3月には奄美初の大島高校の甲子園出場で群島民・出身者が夢と感動をもらい大きな話題となりました。正に奄美全体の飛躍の年でもありました。

さて、全国の地方自治体の置かれている現状は、東日本大震災の復興に絡み、まだまだ非常に厳しい状況にあります。

本町を取り巻く諸情勢も、行財政改革や少子高齢化等、多くの課題を抱えております。さらには、地方分権の確立に伴い自己決定、自己責任が求められるなど誠に厳しいものが

ありますが、私ども議決機関といたしましては、第5次龍郷町総合振興計画に基づき、平和で心触れ合う温もりのある町づくりに向け、町民の声なき声を大事に届けて行きたいと思えます。

また、今年2月15日は町民フェアと併せて町制施行40周年の記念行事が挙行されます。先人が築いてきた歴史・礎に感謝し、新たな未来へ始まる節目の記念の日を町民と共に祝いたいと思えます。

結びになります。私たちが議員10名が町民の皆さまの信託を受けてから、2年6カ月が経過しようとしています。今後とも、町当局と互いに協力しあい、町政発展に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところです。

どうか、龍郷町議会に対して格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ

龍郷町教育長

久保 賀信



明けましておめでとうございませす。町民の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町教育行政に対しまして深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年平成26年は島から甲子園への大きな夢が叶い、大島高校野球部の甲子園大会初出場というビックニュースで幕を開けました。その歓喜と支援の輪は、地元はもとより全国の奄美出身者に広がり、故郷奄美のストゴレ精神を思い興す素晴らしい快挙でありました。また、龍瀬小学校の栄龍征君が第30回わんぱく相撲全国大会において5年生の部で

優勝、同じ龍瀬小学校5年生の岡崎柁斗君が環境日記コンテスト（環境省）において銀賞受賞という快挙もありました。そしてノーベル平和賞受賞者のマララさんの講演は、世界の子どもたちへの教育の実現を強く訴えるものでした。

今年は戦後70年、町制施行40周年の節目の年です。龍郷町教育委員会では「龍郷町教育振興基本計画」に基づき、知・徳・体・聖の調和に富んだ人格の完成を目指し、国及び県の「教育振興計画」や本町の「まちづくり指針」等の趣旨に即し、学校・家庭・地域の連携のもと、学校評価の充実等により開かれた学校づくりを推進し、児童生徒の学力の充実と健全な心身の育成に努め生涯学習社会を展望した教育を推進します。また、町民が自己の人格を磨き、心豊かに人生を送ることができるよう、生涯学習・社会教育及び文化の振興充実に努めます。

学校教育では、①「教えて考えさせる授業」の実践を「学力の3層構造」の中核に位置づけ、町内全小中学校に積極的に導入し知識基盤社会に生きる子どもたちの学力保障に努

め、学級づくりや授業づくりのため、研修を充実させていきます②家庭との連携で「家庭学習60・90運動」の一層の充実を図り、望ましい学習習慣の形成に取り組みます③生徒指導の充実や「生命の尊重」教育の推進と併せて、安心・安全な学校環境の構築に努めます④中学校の修学旅行等を通して菊池市との人的交流を今後も推進していきます。

社会教育では、社会が大きく変化する中で生活の質の向上や学習の意欲は益々高まっています。町民が生きがいを持ち、充実した生活を送ることができるよう、幼児期から高齢期のそれぞれのライフステージに応じた学習機会の提供に努めます。その中でも、①学校と地域を結ぶ学校応援団活動を推進します②子ども博物学士講座や子供会活動等の青少年教育を充実させます③公民館講座の充実を図ると共に、学習の拠点となる生涯学習センター（仮称）の建設を計画的に進めます。

社会体育では、来る2020年の鹿児島国体に向けて、県教育委員会保健体育課が中心となり競技力向上対策係を新たに設け、指導体制の

強化や競技力の底辺拡大と技術力の向上への取り組みを進めています。本町でも競技団体の育成と活動を推進・社会体育施設

の維持管理に努め、町民がスポーツ・レクリエーションに親しみやすい環境づくりに努め、利用促進を図ります。また、マイライフ・マイスポーツ運動を展開し、町4大行事をはじめとする各種スポーツ活動の推進により、町民がスポーツ活動に親しむ活力ある地域づくりに努めます。

町民の皆様におかれましては、今後も龍郷町の教育行政にご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願い致しますと共に、平成27年が皆様にとって最良の年でありませうと祈念申し上げます。



子ども博物学士講座

平成27年 龍郷町成人式

毎年「松の内成人式」を実施する龍郷町は1月3日（土）、体育・文化センターりゅうゆう館で平成27年成人式を執り行いました。今年の新成人71名は、伝統の大島紬をはじめ、スーツや鮮やかな振袖に身を包み、式典に出席。晴れの門出を互いに祝福しあい、大人への一步を大きく踏み出しました。

式典では、代表3名による誓いの言葉や意見発表があり、「故郷を思う気持ちを胸に歩んでいきたい」「奄美を盛り上げることに貢献したい」などと決意を表明。映像で故郷の風景を振り返り、最後は万歳三唱で節目の1日を締めくくりました。



意見発表を行う且知奈美さん（右）
田原一騎さん（左）



誓いの言葉を述べる泉匡哉さん（右）



12/20
(土)

地域美化に貢献
建設業者が奉仕



町内で河川の川幅を広げる工事を進めている大美川・戸口川河川改修工事安全協議会（17社）が、工事区域周辺の清掃ボランティアを行いました。

作業は、戸口校区からの要望を受けて実施。河川や高台（避難場所）周辺で汗を流し、雑草や土砂等を回収して近隣の美化に貢献しました。

12/21
(日)

冬の龍郷路を疾走
ロードレース3大会



第61回日本復帰記念大島地区ロードレース大会・第44回龍郷町ロードレース大会・第54回南日本10キロロードレース通信競技大会が龍郷マラソン公認コースで開催されました。2、3、5、10キロの4コースに、町内外から

多くのランナーが出場。自己記録の更新に挑戦したり、家族とふれあいながら走るなど、それぞれのペースで冬の龍郷路を駆け抜けました。

1/4
(土)

地域防災の推進へ決意
平成27年 龍郷町消防出初式

平成27年龍郷町消防出初式が、体育・文化センターりゅうゆう館でありました。

同館駐車場では、通常点検や一斉放水＝議会だより表紙に写真＝などがあり、町内各地の消防団員94名が機敏な動きで訓練の成果を発揮。ホールで開催された式典では表彰式があり、消防団活動における功績、勤続が称えられました。

被表彰者は次の通りです。（敬称略）

【消防庁長官表彰】表彰旗 龍郷町消防団

【県知事表彰】▽10年勤続章 星村昌雄、徳健二、辺木倉一、重田裕二郎、大司由起夫、畦町俊也

【県消防協会総裁表彰】▽功績章 瀧昌一、植田敏博▽精績章＝川畑耕一郎、中水流勉、伊集院千力、川畑稔仁、岩崎靖、興浩弥

【県消防協会大島支部長表彰】▽功績章 奥村智和、東郷豊久、川畑雅浩、福原尋

▽15年勤続章 龍照和、小林輝夫、重信幸喜、榮正光

【龍郷町長表彰】▽20年勤続章 久保利幸、山下和彦



【訂正】平成26年12月号「まちの話題」プロサーファー誕生の記事中、「県内最年少」の文言を削除します。

龍郷町 議会だより

発行 / 龍郷町議会
編集 / 議会だより編集委員会
〒894-0192
大島郡龍郷町浦110番地
TEL 0997-62-0111 (内線155)
FAX 0997-62-2535



平成27年龍郷町消防出初式

第164号

平成26年第4回定例会

- | | |
|----------------------|---------|
| ・一般質問（4名が登壇）・・・・・・・・ | 8～11ページ |
| ・議決結果ほか・・・・・・・・ | 12ページ |



碓山 幾郎 議員

副町長が就任して1年が経過したが、これまでの龍郷町の有り方についての感想は

問

民間会社との違いは。

答(町長)

民間会社については、利益優先で社会貢献義務がありません。公務員は、全体の奉仕者としての職務が重要であるのが、一番の大きな違いだと思います。

問

町の収入源・いわゆる税金や使用料の収入未済額が年々増加しているが、善良なる納税者との関係も考え、徴収努力はどうしているか。

答(副町長)

町の収入増の対策として

まず、職員の間への接し方サービスを心掛けること。町民が役場へ来られた時に、心良い気持ちを持たれる事などにより、町の事業に対し、協力が得られるものと考えております。

問

指名委員長としての感想は。

答(町長)

本町に本社がある事業所、地元及び代表者も本町在住であることを原則として位置づけ、地元優先という事で実施しております。また、指名委員会では、特殊工事・地域性・手持ち工事の進捗状況・規模などを勘案しながら実施しています。

問

工期内完成ができなかった場合の対処は。

答(副町長)

今現在は、工期内で完成しないという事は経験しておりません。もし完成が出

来なかったという事態が出た場合は、担当課と協議・検討しながらやっていきたいと考えていますが、次の指名から外すという事になります。

教育長が目指す教育方針について

問

教育員の校区内居住について。

答(教育長)

教職員は、地域行事や町行事に積極的に参加し、学校生活以外の子ども達の様子を見て、保護者や地域住民と膝を交えて語ることにより、学校が抱えている教育課題を訴え、協力しながら解決策を見いだすことができると思います。学校訪問や校長会・教頭会等で地域に住むことのメリットを話し、先生方が地域に住んでほしいことを訴えています。

問

学校設備の点検等について。

答(教育長)

毎月1回「学校安全点検の日」を設定し、全職員で実施しているところですが、赤徳小中学校体育館の照明Ⅱ写真Ⅱについては平成27年度の当初予算に要求しているところでは



問

整六式住居跡の補修について。

答(教育長)

子どもたちの歴史に対する興味関心が高まり、学習効果も期待できるので、諸条件が整いましたら復元し、保存したいと考えております。

問

土曜授業の再開について。

答(教育長)

文科省では平成25年11月

に法整備を行い、土曜授業を実施することができるようになりました。実施に向けては様々なスポーツ団体や各種団体との話し合いを進める必要があります。本町におきましても、県教委のガイドラインを参考にし、関係者にその趣旨を説明し判断していきたく考えています。

問

電子黒板の全校整備について。

答(教育長)

現在は、円小学校のみの整備となっています。各校からの要望等に基づき、計画的に順次整備をしていきたいと考えております。



窪田 圭喜 議員

集荷車の運行状況

について

問

運行後、2カ月過ぎた現在の生産者の利用者数や、経済効果等は。

答(町長)

農産物集荷車Ⅱ写真Ⅱは、地域の元気臨時交付金事業で、平成26年9月に2トントラック冷蔵車を購入し、名瀬中央青果株式会社に貸し付けを行い、10月2日から町内21カ所集荷を始めております。

生産者の利用者は、10月が135人、売上額は73万円、11月は146人、売上額は79万円と、増加傾向です。地産地消の推進、高齢者の生きがい作り、所得の向上、集荷の活性化に繋

がるものと期待をしております。



問

今後生産者に対し、出荷指導や市場見学等は。

答(町長)

近日中に内場、荒波2回に分けて行います。平成27年4月からは、農業技師を採用して、指導体制をとります。

グラウンドゴルフ

練習場設置について

問

中央グラウンド東側の松林堤防と隣接地の水無し川

を活用できないか。

答(町長)

台風や集中豪雨時に、上流の浦集落の水害を防ぐための調整水路のため、活用は困難である。

問

1コースでも365日使えるコースは出来ないか。出来るものでしたら、2コース要望いたします。

答(町長)

先日グラウンドゴルフ協会から整備に関する陳情もありました。グラウンドゴルフ競技人口の増大や、町民の健康増進及び体力維持のためにも整備の必要性は十分感じているので、総合運動公園整備基本構想5カ年計画で、公認コース、2コースを計画にあげてあります。

今後の荒波地区の

活性化の取組は

問

少子高齢化人口減に対し、

27年度以降に向けての対応は。

答(町長)

本町の人口は、内場地区で増加していることにより横ばいであり、荒波地区の人口は、昭和50年と比較しますと約半分は減少しております、少子高齢化が顕著に表れていきます。

定住人口の増加を図るため、児童・生徒等のいる世帯を同居条件に、空き家再生等推進事業の実施については、人口減少が著しい荒波地区を優先して参りたいと考えております。

本年度は、幾里集落で一棟整備いたします。近年夫婦共に働いている家庭が増えていく中で、特に子育て世帯を支援する環境づくりとして、秋名へき地保育所の延長保育を重要課題とし、荒波地区の活性化の一助にしたいと考えております。

問

荒波創生として200坪の全天候型のトラックやサッカー場、グラウンドゴルフ場等の第2グラウンドは出来ないか。

答(町長)

荒波地区の発展は考えておりますが、予算も伴う事ですので、今後は関係課長等と話し合い、荒波地区の有する自然や、特に伝統文化を活かした地域振興を図り、地域住民が主体となった地域の活力づくりを推進して参りたいと考えております。

議員発言

最近、良いニュースとして、若手の役職員たちが今後の町おこしに研修グループを作り、勉強会をやっているようですが、今後、柔らかい頭脳を活かし、良いアイデアを提供することを期待しています。



徳永 義郎 議員

土木行政について

問

入札の実施方法は。

答(町長)

本町の入札については、指名競争入札を基本とし、本年度から電子入札を実施しています。

平成27年度からは、建設工事を対象にすべての電子入札を原則とし、更なる入札の透明性や公平性の確保を図っていききたいと考えております。

問

入札後の業者への指導、監督はどのように行われているのか。

答(町長)

現場監督員と工事設計書及び図面によるほか、特殊仕

様書に基づいて施行するよう
に指導をし、疑義が生じた場
合は、監督職員と協議し指示
に従い工事施工するよう指導
しています。特殊な建築工事
につきましては、設計事務所
へ施工管理を委託しておりま
す。

問

公共工事の増による経済効果は。

答(町長)

事業所の増益が見込める
ほか、法人税等の増収や事
業量の増大に伴い、従事す
る町民の雇用環境の安定の
確立と雇用者数の増加等に
より、地域へ与える経済効
果は大きいものと考えてお
ります。

一次産業振興について

問

若い担い手育成対策は。

答(町長)

自然環境を利用した農業
につきましましては、人・農地

プランを策定し、関係機関
と連携を図りながら、担い
手への農地の利用・集積・
新規就農者の確保に努めて
いるところです。

水産業につきましましては、
将来にわたり良好な漁場の
環境保全、保護に向けて、
離島漁業再生支援対策事業
で藻場造成、イカ芝投入や
町単独事業でサンゴ礁移植
写真などに取り組んで
います。地域と共に一次産
業に定着出来る担い手づく
りに努力して参りたいと思
います。



財産所有について

問

集落所有の集会場につい
て町への移管は出来ない
か。

答(町長)

現在、本町には秋名・安
木屋場・苜徳・加世間及び
中戸口集落にそれぞれ集落
所有の集会場があります。
要望がある場合には、その
集会場の土地が町有地であ
る場合、あるいは町への所
有権移転登記が可能である
場合は、受け入れていきた
いと考えております。

教育行政について

問

教育長の教育方針は。

答(教育長)

平成26年3月の施政方針
を基本として教育行政の推
進をいたしておりますが、
特に重要なのは、児童生徒

の生きる力、確かな学力・
豊かな心・健やかな体の育
成の取り組みです。電子黒
板を活用した授業が行われ、
意欲的に授業に参加し
成果も出ています。

また、地域の声として学
校との繋がりが希薄になっ
てきている事を多く耳にし
ます。教職員が校区に住み、
行事に参加し、保護者や校
区民と語り合うことによ
り、保護者や校区民の学校
教育に対する要請等も分か
り学校教育に生かしていく
ことが出来ます。校区内に
居住し、学校や職員が、「地
域応援団」として、地域に
より一層溶け込む事が大切
だと考えております。



前田 豊成 議員

都市再生整備事業

について

問
予算に限度があるが、計画途中で達した場合残りの事業はどうなるのか。年次の計画を示せ。

答（町長）

平成26年度からの5カ年計画です。初年度は「生涯学習センター建設」に向けて、実施設計委託や現中央公民館ホール側の解体工事を進めます。平成27～28年の2年間で完成を目指しております。次年度からは、9億9千万円の予算の中で、排水処理対策・公園整備及びポケットパーク整備事業を予定しています。

予算不足が生じた場合、浦地区Ⅱ写真右Ⅱと赤尾



本地区Ⅱ同左Ⅱの排水処理対策事業はどうなるかとの事ですが、町単独でもやらなければいけない事業だと思っております。

公共工事の指名について

問
公正公平におこなわれているのか。

答（町長）

地元企業優先発注等に係る実施方針を定め、育成・地域経済の活性化、町民の雇用環境安定の確立に努めています。

問

落札業者と違う業者が現場で仕事をしていたり、町外業者による大規模改造事業等が行われているが、育成・地域経済の活性化になるのか。偏った指名の為に96%から99%の落札率の工事もあるが、競争の原理が働いていないのでは。

解消のため、出身企業はじめ営業所や町民の雇用等認められる場合は指名に入れるべきでは。

答（副町長）

落札業者と違う業者が工

事をしていいるのは聞いていますが、町外業者による丸請け・下請けは認識していません。96%ほどの落札は他町村においても普通であり、地元企業優先の姿勢は変わりません。

答（町長）

地元企業優先の初年度だが、手持ち工事や進捗状況等考慮して、中盤以降は奄美市内の業者も指名に入っております。出身者等町民の多くの方が雇用されていると認められる場合は、準地元企業との形で指名に入ってくるものだと思います。

次の定例会は3月を予定しています。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

場所：龍郷町役場2F

当日は受付用紙に住所氏名を記入するだけです。

第4回定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(承 認) ・専決処分 平成26年度龍郷町一般会計補正予算 (第4号)	可決(全員)
(議 案) ・龍郷町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 ・龍郷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・龍郷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定 ・龍郷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ・龍郷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ・龍郷町保育の必要性の認定に関する条例の制定 ・平成26年度龍郷町一般会計補正予算 (第5号) ・平成26年度龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第3号) ・平成26年度龍郷町介護保険事業特別会計補正予算 (第2号) ・平成26年度龍郷町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) ・平成26年度龍郷町簡易水道事業特別会計補正予算 (第3号) ・平成26年度龍郷町生活排水処理事業特別会計補正予算 (第3号) ・龍郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員) 可決(全員)
(同 意) ・固定資産評価審査委員会委員の選任 (松田 秀嗣 氏) ・固定資産評価審査委員会委員の選任 (吉田 一若 氏) ・固定資産評価審査委員会委員の選任 (長田 也寸夫 氏)	可決(全員) 可決(全員) 可決(全員)
(発 議) ・「手話言語法」制定を求める意見書 ・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	可決(全員) 可決(全員)
≪ 陳 情 ≫ 陳情7号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書 陳情8号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情書	採 択 採 択

～ Ageing in Place (エイジング イン プレイス) の実現を目指して～

住み慣れた地域で老いを迎える ※入場：無料

第2回在宅医療推進フォーラムのお知らせ

日時：平成27年2月15日(日) 10時～12時

場所：奄美市名瀬公民館ホール

内容：①「在宅療養を上手に使うって奄美で長生き！」



演者：長尾 和宏 先生 (長尾クリニック院長 / 日本尊厳死協会副理事長)

②奄美大島と喜界島の全市町村による取組み報告

共催：龍郷町、名瀬保健所、奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町、大島郡医師会

お問い合わせ先：龍郷町地域包括支援センター ☎ 0997-69-4516、FAX0997-62-2535 (満永)

大島郡医師会在宅医療連携支援センター ☎ 0997-55-6381、55-6382

平成27年度町民税・県民税・国民健康保険税申告のお知らせ

今年の所得申告のお知らせです。下記日程で各会場を巡回し、申告及び各種税金の徴収を実施いたします。巡回会場に当日都合のつかない方は、別の会場へお越しいただいても構いません。

■申告の対象者

平成27年1月1日現在で満20歳になっている方で平成27年1月1日現在本町に生活の本拠がある方。(ただし、20歳未満の方でも年間の合計所得が125万円以上の方は申告が必要です。)

■所得の申告について準備するもの

- ①平成26年1月1日～12月31日までの収入が確認できるもの
- ②事業所得や農業所得、不動産所得などのある方は、必要経費の対象となるもので、支出した金額の確認ができるもの(領収書、通帳)
- ③生命保険や地震保険等の支払いが確認できるもの
- ④印鑑(認印で構いませんが、シャチハタは使えません)
- ⑤確定申告にて還付金がある方は、申告者本人の振込口座名と口座番号

平成27年度所得申告受付日程表(各種税金の徴収も同時に行います)

月 日	集 落 名	会 場	時 間
2/17(火)	秋 名	秋名コミュニティセンター	午前9時30分～午前11時30分
	幾 里		
	嘉 渡	嘉渡生活館	午後2時00分～午後4時
2/18(水)	安木屋場	安木屋場公民館	午前9時30分～午前11時00分
	円	円公民館	午後1時30分～午後4時
2/19(木)	龍 郷	龍郷へき地保健福祉館	午前9時30分～午前11時00分
	瀬 留	瀬留生活館	午後1時30分～午後4時
2/20(金)	玉 里	玉里コミュニティセンター	午前9時00分～午前11時30分
	久 場	久場へき地集会場	午後1時30分～午後3時20分
	屋 入	屋入公民館	午後3時30分～午後4時30分
2/23(月)	浦	浦生活館	午前9時00分～午前11時00分
	大 勝	大勝生活館	午後1時30分～午後4時
2/24(火)	川 内	川内へき地集会場	午前9時30分～午前11時00分
	中 勝	中勝公民館	午後1時30分～午後4時
2/25(水)	下戸口	下戸口コミュニティセンター	午前9時30分～午前11時00分
	中戸口	中戸口公民館	午後1時30分～午後4時
2/26(木)	上戸口	上戸口コミュニティセンター	午前9時30分～午前11時00分
	手 広	手広地区振興センター	午後1時30分～午後4時
2/27(金)	芦 徳	芦徳公民館	午前9時30分～午前11時00分
	赤尾木	赤尾木公民館	午後1時30分～午後4時

【お問合せ】 龍郷町役場町民税務課 TEL 69-4513 (直通)

たつごうエッセイコンテスト 入賞作品決定！

龍郷町
町制施行40周年

龍郷町は、平成27年2月に町制施行40周年を迎えます。節目の年の記念事業として「たつごうエッセイコンテスト」を企画・募集し、このほど、入賞作品が決定しました。

表彰式が行われる龍郷町町制施行40周年記念行事（2月15日開催）を前に、入賞者を発表します。（敬称略）

【エッセイテーマ】

龍郷町が発祥の地とされる逸品を取り上げた「大島紬の思い出」

世界自然遺産登録を見据え、その魅力に迫る「私の好きな世界遺産」

一般の部

【最優秀賞】村田 有花（東京都板橋区）

【優秀賞】出口 志津子（福岡県大牟田市） 大西 賢（東京都日野市）
得本 拓（喜界町赤連）

【佳作】後藤 順（岐阜県岐阜市） 向 美芳（瀬戸内町古仁屋）、
森田 京子（奄美市住用町） 高山 恵利子（群馬県前橋市）、
黒岩 千尋（鹿児島県鹿児島市） 田代 伊津子（鹿児島県伊佐市）、
森田 裕子（福岡県遠賀郡遠賀町） 西 桂吾（奄美市名瀬有屋町）

【特別賞】則 光代（龍郷町瀬留）

学生の部

【最優秀賞】中村 光希（龍郷町幾里）

【優秀賞】福山 来花（龍郷町戸口） 廣 あすか（龍郷町戸口）

【佳作】嘉 佳奏（龍郷町秋名） 久木山 千織（龍郷町浦） 大司 百花（龍郷町秋名）

【特別賞】俵 さくら（龍郷町中勝）

【応募作品数】全国各地から201作品（一般185作品、学生16作品）

【審査日程】予備審査 平成26年12月10日、本審査 同年12月26日

【審査基準】▽テーマを正しく捉えた内容▽適切な文章表現ができている▽読む人が思わず興味を引かれるような書き出しや内容▽体験や見聞に基づき、テーマに対する自身の見解や心情が伝わるーなど。

【応募・問い合わせ先】

龍郷町町制施行40周年記念事業実行委員会（役場総務企画課内）
TEL：0997-62-3111（内線115）FAX：0997-62-2535
MAIL：koho@town.tatsugo.lg.jp



奄美マングースバスターズより 捕獲作業へのご理解とご協力をお願い

10カ年計画で全島からの根絶を目標とした「奄美大島におけるジャワマングース防除事業」は、2013年度から新たな計画がスタートし、宇検村、瀬戸内町（大島側）の全域にわなを設置しています。これまでマングースは3万2千頭以上が捕獲され、近年は捕獲頭数が減少し続けています。その結果、アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、ケナガネズミなどの希少な哺乳類の生息状況の回復が確認されています。

昨年度のマングース捕獲数は130頭で過去最低となり、マングースの生息密度がさらに低下したものと考えられています。奄美マングースバスターズは、カゴわなや筒わなによる捕獲を行うとともに、マングースの生息の有無を確認するためヘアトラップや自動撮影カメラによるモニタリング調査を実施しています（写真）。※狩猟期間中、ご迷惑をおかけするかと思いますがご協力何卒宜しくお願いいたします。



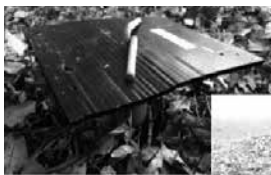
筒わな



カゴわな

・誤って触れてしまうと誤作動を起こしたり、場合によってはケガをすることもありますので、触らないようお願いいたします。

【狩猟者へのお願い】



ヘアトラップ



センサートラップ

・奄美マングースバスターズは平日の朝から夕方に、山中でわな点検等のため巡回作業をしております。目立つ服装を着用し、鈴を携帯しております。

・マングース探索犬（写真：マングースのフンや巣穴などを確認するための犬）を伴っての作業は、作業道から外れて行うこともあります。

※銃器による狩猟の場合は特に矢先の確認等ご注意をお願いします。

奄美マングースバスターズの
活動に関するお問い合わせ

- ・マングースによる農作物被害や目撃情報
- ・農作物被害対策としてのわな設置希望
- ・わなの設置場所についてのご相談
- ・その他、ご意見・ご要望等

マングース探索犬（現在9頭）



●一般財団法人 自然環境研究センター

奄美大島事務所（奄美市名瀬浦上 1385-2） ☎ 58-4013

●環境省 奄美野生生物保護センター（大島郡大和村思勝字腰ノ畑 551） ☎ 55-8620

カセットボンベなどの ごみ出しの注意点

昨年12月24日の燃えないごみの収集作業中に、ごみ収集車内で回収したごみから火災が発生しました。原因は、カセットコンロなどで使うガスボンベ、またはスプレー缶の中にガスが残っていたことで爆発を起こしたものと思われる。

このような火災は、収集作業に支障があるだけではなく、場合によっては作業員の命にかかわることもあり非常に危険です。

冬場は、カセットコンロを使う機会が増える時期でもあります。カセットコンロ用ガスボンベ及びスプレー缶などは、中身を完全に使い切り、必ず缶に穴を空けて中のガスを抜いたものを排出するようにお願いします。

お問い合わせは、役場生活環境課 ☎69・4525までお願いします。

家庭用指定ごみ袋 取り扱い卸問屋を募集

平成27年度において、家庭用指定ご

み袋の取り扱いを希望する卸問屋を募集します。

取扱店の要件を満たすことが条件となります。詳細は、大島地区衛生組合（名瀬クリーンセンター）電話53・2969、52・9766、FAX54・4788までお問い合わせください。※同組合ホームページでもご覧いただけます。

国民年金保険料は 口座振替がお得です

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用になれます。

口座振替をご利用いただくと、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関などに行く手間が省けるうえ、納め忘れもなく、とても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に振替納付することにより、月々50円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い6カ月前納・1年度前納・2年度前納もあり、大変お得です。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出

印を持参のうえ、ご希望の金融機関または年金事務所へお申し出ください。

【問い合わせ先】
・役場年金係 ☎69・4517
・奄美大島年金事務所 ☎52・4341

建設発生土の 受け入れ地募集について

大島支庁建設課で発注の河川工事で、掘削に伴う建設発生土が発生します。今回、発生土の有効利用を図るため、農地の嵩上げ等をお考えの方の土地への土砂の無償受入を募集します。

■募集期間（土日は除く）
平成27年2月2日（月）
～平成27年2月27日（金）

■対象地域 龍郷町内
■応募条件
①農地の所有者で、今後とも農地として使用するため土砂の搬入を希望する方（別途、誓約書及び覚書きの締結が必要となります）

②搬入場所は龍郷町内
③搬入土量は原則500㎡以上
④大型ダンプトラック（10ト車）で土

砂の搬入ができる。

⑤法律、関係条例上、嵩上げ（盛土）等を行うことが可能な土地であり、関係手続きが申し込み時に完了している。

■その他
①受入者は、搬入土の土質的条件を指定できません。

②県は、土砂の運搬のみを行い、搬入土の敷均し・締固め等は受入者で行うものとします。

③受入者は、県から受け入れた搬入土を営利目的に利用したり、他の箇所に搬出してはいけません。

④搬入土は、受入者の責任において管理するものとし、当該土砂が第三者に影響を及ぼさないよう流出対策等を講じるものとし、当該土砂が第三者に影響を及ぼしたときは、受入者とその損害を賠償するものとします。

⑤ほかにも条件がありますので、詳しくは龍郷町地域整備課まで問い合わせください。

【応募・問い合わせ先】
・役場地域整備課 ☎69・4520

「スピード健診」実施

2月1日(日)まで

健診で助かる命があります！

龍郷町役場保健福祉課は、お仕事をされている方を優先にした「スピード健診」を実施します。やせているから健康とは限りません。また、生活習慣病は自覚症状がなく進みます。この機会に受診しましょう。会場に入つて25分以内で終了します。

国民健康保険加入者は無料です。特定健診は、糖尿病や高血圧、脂質異常症、ガンなどを早期に判定できる有効な手段です。内容は、問診(食生活、運動週間、喫煙歴等) 身体計測(身長、体重、肥満度、腹囲)、診察、血圧測定、尿検査、心電図、血液検査(血糖検査、資質検査、肝機能検査)、大腸がん検診です。

【会場など】

- ・赤尾木公民館
- 1月29日(木) 午前7～8時
- ・秋名コミュニティセンター
- 1月30日(金) 午前7～8時
- ・玉里コミュニティセンター
- 1月31日(土) 午前7～8時

・大勝生活館

2月1日(日) 午前7時～7時半

・中勝公民館

同日8時15分～9時15分

無料法律相談のご案内

奄美法律センター

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、龍郷町民も無料で相談することができます。

2月相談日のお知らせ(派遣相談)

※電話予約が必要です(先着順)

・12日(木) 大倉 克大 弁護士

(午後1時～4時半)

・19日(木) 鈴木 穂人 弁護士

(午前9時半～11時半)

・26日(木) 永山 一秀 弁護士

(午前11～12時、午後1時～3時半)

◇一人30分です。(事前に相談内容をまとめておくと効率的です。同じ人が続けて申し込みされることは遠慮いただいています)

【お問い合わせ・予約先】

- 奄美市役所市民協働推進課市
- 民生活係 ☎52・1111 (内線
- 1715・1716) 午前8時半～午
- 後5時15分



子どものこころといのちに関する講演会

入場無料

日 時：平成27年2月8日(日) 午後2時～午後4時

場 所：大島支庁4階大会議室

内 容：『子どもの心をレスキュー！～あなたにも出来るメンタルケア～』

【講師】高輪こころのクリニック院長 精神科医 仲村 禎夫氏(早稲田大学名誉教授)
同クリニック 臨床心理士 伊藤三枝子氏

10～20歳代のお子さんがある

お父さんやお母さん・学校の先生など必見！

いじめや進学への重圧、就職難など現代の

子どもたちはストレスフルな環境にあります。問題や試練を乗り越えるために支える私たちには何ができるでしょうか。

また、支える私たちのセルフケアも大切です。ストレス軽減の方法について聞いてみませんか？

問い合わせ先

鹿児島県大島支庁保健福祉環境部

(名瀬保健所) 地域保健福祉課 担当：吉村

TEL：0997-57-7243

主催：鹿児島県名瀬保健所

子ども芸術祭典「いまからいえでにいきます」



龍郷町子ども芸術祭典実行委員会は、第27回鹿児島県子ども芸術祭典を開催します。主人公・あつくんの冒険を親子で一緒に楽しんでみませんか？

子どもたちと一緒に考えて表現する“参加型”の作品を演じる劇団風の子九州が「いまからいえでにいきます」を上演します。

多くの方々の来場をお待ちしております。

- 日時 2月18日(水) 午後7時開演
- 場所 浦生活館
- チケット(3歳以上)
前売1千円、当日1200円
- 後援 龍郷町教育委員会、龍郷地区保育連合会、龍郷町職員組合さくらんぼ会
- 問い合わせ先
川畑 昌子 (赤徳保育所 ☎62-3559)
宮ノ原 さゆり (大勝保育所 ☎62-2133)
栄 麗 (健児保育所 ☎62-2363)

お誕生おめでとうのひらまつり

【12月届出】 保護者名

- 里村 龍星 勇弥 嘉渡
- 渥美 陸太 勝則 龍郷

ごめい福をお祈りいたします

【12月届出】

- 星田 秀子 (87) 浦 (愛寿園)
- 柘山 おさえ (88) 浦 (愛寿園)
- 肥後 サツエ (95) 秋名
- 柿 眞磋男 (74) 円
- 長井 充 (92) 円
- 静 直一 (25) 赤尾木 (希望の星学園)

香典返しお礼(社会福祉協議会)

【11月届出】

- 奄美市名瀬の栄政利さん (一般寄付)

【12月届出】

- 奄美市名瀬の ベストフレンズ川畑賀嗣さん (一般寄付)
- 奄美市名瀬の田畑豊春さん (故田畑イヨコさんの子)

- ・芦徳の池(ミドリさん) (故池満榮さんの妻)

香典返しお礼(その他団体)

- ・幾里の伊東義成さん(故奥田佳江子さんの弟) から秋名老人クラブ稲葉会、幾里老人クラブ稲穂会へ寄付金。

- ・幾里の奥俊美さん(故奥ムツエさんの子) から秋名老人クラブ稲葉会、幾里老人クラブ稲穂会へ。
- ・赤尾木の坂元親徳さん(故坂元ナツエさんの子) から愛寿園へ。
- ・芦徳の池ミドリさん(故池満榮さんの妻) から芦徳集落、芦徳老盛会へ。
- ・芦徳の竹山ミ子コさん(故竹山正義さんの妻) から芦徳集落、芦徳老盛会、愛寿園へ。
- ・奄美市名瀬の中原輝久さん(故中原恵子さんの夫) から、芦徳集落へ。

	平成26年12月末現在	前月比
世帯数	2,961	-27
人口	6,059	-135
男	2,938	-60
女	3,121	-75

2月行事予定表

※行事は変更になる場合があります。あらかじめご確認ください。

日	行事名等	時間	場所
1 (日)	特定健診 (スピード健診) 4日目	7:00 ~	大勝生活館
		8:15 ~	中勝公民館
3 (月)	元気はつらつ教室	13:30 ~	どうくさあや館
5 (木)	3歳児健診	13:00 ~	
		でいでいクラブ	13:30 ~
10 (火)	元気はつらつ教室	13:30 ~	どうくさあや館
12 (木)	でいでいクラブ	13:30 ~	瀬留生活館
14 (土)	町民フェア前夜祭	18:00 ~	りゅうゆう館ホール
15 (日)	龍郷町町制施行 40周年記念式典 (第16回龍郷町民フェア)	(受付)8:40 ~ (開会)9:00 ~	りゅうゆう館全体
17 (火)	元気はつらつ教室	13:30 ~	どうくさあや館
18 (水)	たつごう在宅家族の会	14:00 ~	町中央公民館
19 (木)	でいでいクラブ	13:30 ~	瀬留生活館
24 (火)	元気はつらつ教室	13:30 ~	どうくさあや館
	お腹スッキリ運動教室	19:30 ~	
26 (木)	乳児健診・BCG予防接種	13:00 ~	瀬留生活館
	でいでいクラブ	13:30 ~	

2月のどうくさ会

時間 午前9時半～ / 午後2時～
場所 各集落公民館

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
午前	瀬留	*	*	赤尾木	*	*	*
午後	*	安木屋場	上戸口	円	手広	*	*
	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
午前	*	*	嘉渡	*	*	*	*
午後	*	芦徳	秋名・幾里	中戸口	龍郷	大勝	玉里
	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
午前	*	*	*	円	*	*	*
午後	瀬留 安木屋場	浦	*	赤尾木	*	*	*
	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
午前	*	*	*	*	龍郷	*	*
午後	*	*	嘉渡	*	大勝	*	*

★時間は放送等でご確認ください。
★高齢者の健康増進を目的としています。
お気軽にご参加ください。

玉黄金

1月生まれ



とよやま ひろと
豊山 浩斗 くん
H 26.1.18 生
父 浩康 / 母 彩子 手広



ながい ゆう
永井 悠 くん
H 26.1.18 生
父 辰之 / 母 なぎさ 中勝



かわなみ りひと
河波 理仁 くん
H 26.1.15 生
母 智里 中戸口



とくなが ゆいさ
徳永 結咲 ちゃん
H 26.1.29 生
父 健治 / 母 絹代 手広



まつもと へるな
松元 鈴菜 ちゃん
H 26.1.28 生
父 士郎 / 母 玲奈 玉里



さくだ みお
作田 海桜 ちゃん
H 26.1.20 生
父 一生 / 母 瑶子 玉里

満一歳になりました。
この子たちに誇れる町を
みんなできつくりましょう。



志
〜西郷南洲翁の足跡〜

全国各地で行われている文化活動を全国規模で発表・競演する国内最大の文化の祭典「国民文化祭」。今年は鹿児島県で開催されます。龍郷町は、西郷南洲翁の足跡を辿るとともに、「西郷柄」の名称もある大島紬の歴史やその魅力を再発見・再認識し、全国へ発信します。このコーナーでは、西郷南洲翁の生い立ちを中心に歴史を学ぶ「志塾・西郷塾」の取り組みや作品等を紹介いたします。

志塾・西郷塾とは 龍郷町に縁のある西郷さん、愛加那さん、菊次郎さん、菊草さんを中心に歴史を学ぶ勉強会です。「歴史を現代に生かす」ことを大事にしながら、毎月2回、老若男女約20名で活動中です。活動は、研究・勉強、交流、顕彰の3つの柱で成り立っています。

〈研究・勉強〉 講師による資料の説明や読み合わせ、意見交換等を行います。**〈顕彰〉** ①毎年3月3日に「愛加那を語る会」を開催しています。②歴史学習の一環として、子どもたちに西郷さんや愛加那さんの紹介・講話のほか、手作り紙芝居「愛加那物語」「菊次郎物語」を制作し、幅広く実演しています。

〈交流〉 ①熊本県菊池市の「菊池源吾に学ぶ会」と交流しています。②ゲスト（西郷さんや愛加那さんの研究者や取材者、ご縁のある方々）の来島時に親交を深めています。③沖永良部島や瀬戸内町を訪問し、奄美における西郷研究の情報交換をしています。

次回から、紙芝居「愛加那物語」を掲載します。



熊本県菊池市との交流会